

**製品名: TPO ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab19158**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	38kDa

**抗原情報**

遺伝子名	THPO THPO; MGDF; Thrombopoietin; C-mpl ligand; ML; Megakaryocyte colony-stimulating factor;
別名	Megakaryocyte growth and development factor; MGDF; Myeloproliferative leukemia virus oncogene ligand
遺伝子 ID	7066.0
SwissProt ID	P40225
免疫原	抗血清はヒト THPO の内部領域から合成したペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 41-90

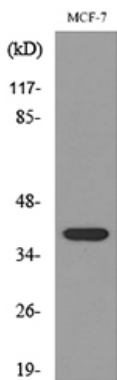
## 背景

巨核球生成は、血小板産生につながる細胞発達過程です。この遺伝子によってコードされる主要な機能性タンパク質は、巨核球の増殖と成熟、そして血小板生成に必要な体液性増殖因子です。このタンパク質は、骨髄増殖性白血病ウイルスの癌遺伝子産物である MLP/C\_MPL のリガンドです。この遺伝子の変異は、血小板血症 1 型の原因です。選択的プロモーターの使用と異なるスプライシングにより、5' UTR および / またはコード領域が異なる複数の転写産物バリエーションが生じます。主要なオープンリーディングフレーム (ORF) の上流に複数の AUG コドンが同定されており、これらの上流 AUG は、主要な ORF の翻訳を異なる程度に阻害します。[RefSeq 提供、2014 年 2 月]、疾患: THPO の欠陥は、本態性血小板血症 (ET) の原因です [MIM:187950]。ET は常染色体優性遺伝形質として遺伝し、巨核球の持続的な増殖による血小板レベルの上昇を特徴とし、血栓性および出血性の合併症をしばしば引き起こす。ドメイン: エリスロポエチン様 N 末端とセリン/プロテイン/スレオニンに富む C 末端を持つ 2 つのドメイン構造。機能: 分化誘導された前駆細胞からの巨核球の増殖および成熟に影響を及ぼす系統特異的サイトカイン。巨核球発生の後期に作用する。循環血小板の主要な生理学的調節因子である可能性がある。類似性: EPO/TPO ファミリーに属する。

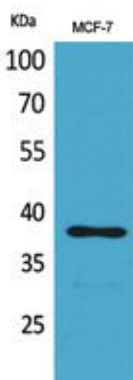
## 研究分野

造血細胞系統;

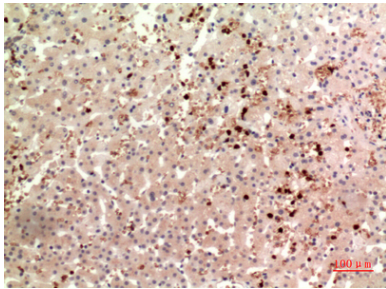
## 画像データ



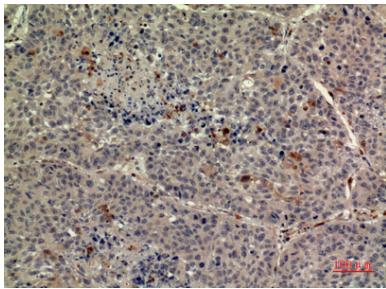
THPO 抗体を使用した MCF-7 細胞の溶解液のウェスタン ブロット分析。



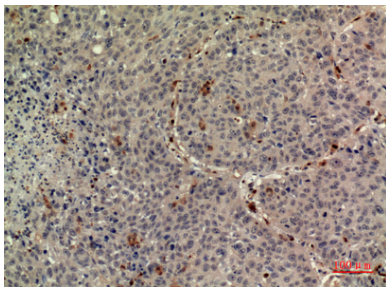
TPO ポリクローナル抗体を用いた MCF-7 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



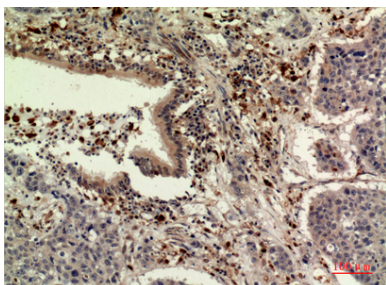
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



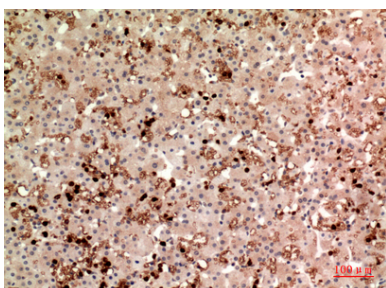
パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された